

## 平成 27 年度全国学力・学習状況調査の調査結果の分析

### 設問別調査結果 [国語 A : 主として知識]

<分析>

[国語 A] では、33 問すべての正答率が全国平均を上回っています。全員が正解（正答率 100%）という問題が 5 問あり、特に漢字を正しく読み書きする力、必要に応じて質問しながら聞き取る力、などが優れているという結果が出ました。全問正解者が 30 人、一問間違いが 26 人ということからも、基礎・基本の身に付いている生徒が多いことがわかります。授業を中心に漢字テストや朝の読書など、日頃からの指導の成果が出ているものと思われます。

### 設問別調査結果 [国語 B : 主として活用]

<分析>

[国語 B] では、[国語 A] に比べて、平均正答率はやや低いものの、こちらも 9 問全ての正答率が全国平均を上回っています。また、正答数の分布を全国と比較すると、正解数の多い生徒の割合が圧倒的に多いことがわかり、全体的に平均して力がある、といえます。1 問だけ、複数の資料から適切な情報を得て、自分の考えを具体的に書く問題で、正答率 56.7%と極端に低いものがありました。紛らわしい誤りの選択肢をきちんと排除できる力をつけることが、今後の課題かと思われます。

### 設問別調査結果 [数学 A : 主として知識]

<分析>

[数学 A] では、36 問すべての正答率が全国平均を上回っています。全員が正解（正答率 100%）という問題が 5 問あり（昨年比 +1）、全問正解者が 10 人、一問間違いが 21 人、という結果となりました。基礎・基本がおおむね身につけている生徒が多い、といえます。正答率が特に低い問題は、証明の必要性和意味を理解しているかという問題で正答率は、44.2%でした。また、例年正答率の低い「関数の意味を理解している」という問題では、今年の正答率は 99.0%となり理解が深まったことが確認されました。

### 設問別調査結果 [数学 B : 主として活用]

<分析>

[数学 B] では、15 問すべての正答率が全国平均を上回り、また、全問正解者が 11 人、一問間違いが 14 人、という結果でした。全員が正解（正答率 100%）という問題もあり、活用する能力も高いと言えます。全国平均正答率 30.8%の証明問題が、本校正答率 87.5%ととても高くなっており、証明問題を苦手とする生徒が少ないとわかります。さらに、無解答の問題が少なく、数学的に説明する難しい問題にも最後までしっかり解答できる生徒が多いと判断できます。

### 設問別調査結果 [理科]

<分析>

[理科] では、25 問中 24 問で正答率が全国平均を上回っています。基礎・基本がおおむね身につけている生徒が多いといえます。正答率が特に低い問題は、天気記号から風向を読み取り、風向計を使って風向を観測することができるかという問題で正答率 36.5%でした。風向を誤って理解している生徒が多く、よく理解させることが必要だと思われました。

## 生徒質問紙結果

### <分析>

質問紙の結果からは、本校生徒の規範意識が高く、模範的な生活を送っていることがわかります。家で学校の宿題をしている生徒（している・どちらかといえばしている、の合計）が100%、学校の授業の予習・復習をしている生徒が75.0・78.8%おり、学校の授業を大切にしている生徒が多いことがわかります。家での学習時間について全国と比較すると、平日の学習時間はほぼ変わらないものの、休日の学習時間は4時間以上が23.1%と高く（全国平均は5.5%）、本校生の多くの学習スタイルが「休日にまとめてやる」であることがわかります。遠方からの通学などにより、平日に確保できない学習時間を、何とか工夫して生み出している状況があるようです。

「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますかという問いに98.1%の生徒が当てはまると回答しており、（全国平均は58.0%）本校生徒の多くが、「総合的な学習の時間」を効果的に進めている様子が見えます。

国語、数学、理科ともに、解答を文章などで最後まで解答を書こうと努力しましたかという問いに、最後まで書こうと努力したという生徒がすべて90%を超えており、全国平均を大きく上回りました。学習に関する取り組みが優れていると思われます。